

# 障害者支援施設 あかまつ荘

## 1、事業概要

施設入所支援	施設に入所されている方々の夜間や休日において入浴、排泄、食事の介護等や余暇支援を提供した
生活介護	常に介護を必要とする方に入浴、排泄、食事の介護等を提供すると共に創作活動又は、生活活動の機会を提供した
短期入所	在宅生活者の疾病その他の理由により、短期間の入所を必要とする利用者に入浴排泄及び食事の介護その他の必要な支援を提供した

## 2、職員配置

事業所名	職 種	員 数	常 勤		非 常 勤		備 考
			専従	兼務	専従	兼務	
障害者支援施設 あかまつ荘	管 理 者	1		1			
	専 門 生 活 支 援 員	1	1				
	サ ー ビ ス 管 理 責 任 者	1	1				
	生 活 支 援 員	7	7				
	作 業 指 導 員	7	4		3		非常勤：8時間以内勤務
	事 務	2	2				
	看 護 師	3	1	1	1		
	栄 養 士	1	1	1			
	厨 房	4	4	4			
合 計		27	21	7	4		

(平成27年3月末現在)

## 3、利用者の状況 (平成27年3月末現在)

### (1) 利用者数

事業名/性別	男性	女性	合計
施設入所支援	27人	18人	45人
生活介護	28人	15人	43人
短期入所	1人	0人	1人

### (2) 障害状況

#### ア障害名

事業名/種別	身体	知的	精神	その他	合計
施設入所支援	12人	40人	3人	0人	55人
生活介護	14人	41人	3人	1人	59人
短期入所	0人	0人	1人	0人	1人

※重複障害者を含む

イ 障害支援区分

事業名/区分	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	区分なし	平均
施設入所支援	0人	6人	13人	12人	7人	7人	0人	3.91
短期入所	0人	0人	2人	0人	0人	0人	0人	3

(3) 年間利用状況

事業名/利用項目	延べ利用日数	定員	延べ利用人数	利用率
施設入所支援	365日	45人	15,489人	94.3%
生活介護	245日	45人	11,077人	100.4%
短期入所	365日	4人	583人	39.9%

4、提供したサービス内容

活動名	活動内容
個別支援計画の作成	利用者ニーズを把握・反映し、利用者の意向に沿った支援を提供した
食事の提供	利用者の状態や疾病、ニーズに合った喜ばれる食事の提供、衛生管理の徹底を図った
身体機能及び日常生活能力の維持、向上の支援	残存機能の維持と生活動作の確保、入浴・排泄・身体等の介護を提供した
創作活動	軽作業を通して利用者が目的を持って取り組む事により、集中力や持続力を高められる支援を提供
生活相談	利用者・家族の方々の生活全般の相談援助
健康管理	利用者の健康維持の為、個々の障がい程度や健康状態を把握し、バイタルチェック、定期検診、感染症予防対策に努めた
緊急時・非常災害時における対応と対策（事故対策）	火災等の非常災害時に備え、防災マニュアルに基づき事前対策や定期防災訓練を実施した
職員の資質の向上（研修の強化）	各種研修会への積極的な参加、施設内での伝達講習会にてサービスの質の向上及び対人援助技術のスキルアップ等を実施した
余暇活動（ボランティア・趣味・教養娯楽）	個々の要望に応じた余暇支援・ボランティアさんとのふれあい活動を提供した
送迎の支援	買い物支援、定期受診などの送迎支援の提供をした

## 5、班別活動

	項目	活動内容
「いきいき班」	作業活動	アルミ缶リサイクル・園周辺の環境整備 ・手工芸等の創作活動を提供した
	生活学習 レクリエーション	日帰りドライブ1回（うさぎの森オートキャンプ場） 軽運動・レクリエーションを提供した
「さくら班」	機能訓練 生活介護訓練	身体機能、体力、生活能力の維持活動 食事・排泄・移動・整容・保清のための介護を提供した
	健康衛生管理	体温・体重・血圧測定を実施し看護師と連携して健康管理 にあたった。汚物処理、感染症対策を職員間で徹底、うがい手 洗いを励行した
	生活学習 レクリエーション	日帰りドライブ1回（うさぎの森オートキャンプ場） 軽運動・レクリエーションを提供した

## 6、主な行事

4月	お花見・保護者会総会	10月	収穫祭
5月	田島第二小学校運動会	12月	クリスマス会・忘年会
7月	田島祇園祭（オプション）	1月	新年会・だんごさし
8月	花火大会	2月	節分
9月	お月見	3月	ひな祭り

## 7、研修

実施月	研修内容
<b>外部研修</b>	
5月	支援スタッフ委員会・役員会総会
6月	障がい者福祉施設等基礎研修、社会福祉施設中堅職員研修、ボランティア受入施設担当者 研修、算定基礎届事務講習会
7月	支援スタッフ委員会、キャリアパス制度理解研修、社会福祉施設初任者研修、人事・倫理 委員会、障害福祉サービス事業所集団指導、社会福祉法人事務長研修
8月	サマーショートボランティア2名受入、支援スタッフ委員会
10月	介護プリセプター導入研修、社会福祉施設栄養士研修、特定給食施設等講習会
11月	福祉サービスに関する苦情解決研修会、県知的障害施設協会行動支援計画作成スキル学習会
12月	障がい者虐待防止法に関する研修会、障がい者福祉施設等研修
2月	県知的障害者支援部会研修会、二者合同研修会、年金医療事務研修会
3月	社会福祉施設栄養士研修
<b>内部研修</b>	各種研修会参加後に伝達講習会、法人全職員を対象に諸規定、人権擁護研修会を実施
<b>自己啓発</b>	講演会や研修会に自発的に参加できるように随時情報を提供した

## 8、ボランティア活動

『ボランティア依頼』	<ul style="list-style-type: none"> <li>●趣味サークルなどの指導や行事催し物（歌・踊り）の依頼 長野民踊様（4月、5月、10月2回、2月）、花みずき様（10月）、 息吹様（10月）、南会津民謡会様（3月）</li> <li>●利用者把握やお手伝いの依頼 長野婦人会様（10月収穫祭の調理手伝い）</li> </ul>
『ボランティア活動（奉仕活動）』	地域の環境美化（ゴミ拾い等）を実施した

## 9、環境美化事業

活動時期	活動内容
4月	駐車場清掃・軒下掃除
6月	第1回保護者合同奉仕作業（窓拭き・網戸取り付け・草刈り作業）
7月	下駄箱清掃（利用者の履物チェック）
9月～10月	職員奉仕作業（草刈り・除草剤まき・園周辺の整理）
11月	第2回保護者合同奉仕作業（網戸の取り外し・冬囲い）
12月	大掃除（浴室・トイレ・洗濯場）
その他	屋外の大掃除・トイレ掃除・クモの巣駆除

## 10、保健衛生

(1) 利用者の健康維持推進	日々の健康状態を把握し、ご家族、病院と連携し利用者が健康で過ごせるように支援した
(2) 感染症対策	感染症情報を把握し適切な処置・対応と発生防止に努めた
(3) 安全衛生	清潔で快適な生活環境を保ち安全で快適な職場環境を整えた 職員の健康診断を行い生活習慣病の予防に努めた

### 保健医療機関での診察状況

診療科目	実人員 / (人)		延診察日数 / (日)		一人当たり平均診療日数	
	入院	入院外	入院	入院外	入院	入院外
内科系疾患	4	17	85	119	21.3	7
精神科	4	34	441	154	110.3	4.5
耳鼻科		2		19		9.5
皮膚科		8		9		1.1
婦人科	1	1		9	1	9
眼科		1		4		4
外科		2		37		18.5
歯科		6		59		9.8
泌尿器科		2		16		8
整形外科		7		32		4.6
計	9	80	526	458	58.4	5.7

### 利用者及び職員の定期健康診断の実施状況

<利用者>

期日	実施人員	検査内容	検査機関
5月23日	18名	乳がん検診	保健衛生協会
10月1日	58名	胸部レントゲン	保健衛生協会
	61名	心電図、血液検査	保健衛生協会
3月12日	63名	血液検査	保健衛生協会

<職員>

期日	実施人員	検査内容	検査機関
9月5日	36名	胸部レントゲン、心電図	福島二本松病院
	35名	血液検査、尿検査、視覚・聴覚検査	福島二本松病院
3月12日	13名	胸部レントゲン、血液検査（夜勤実施者）	保健衛生協会

## 1 1、給食管理

① 楽しみのある食事を提供 利用者の声に応え、「楽しさ」「おいしさ」が感じられる食事提供に努めた 季節食や行事食を通して季節の味覚、地元の味を提供した			
4月	お花見会（保護者会総会）：お花見弁当	10月	収穫祭：しんごろう、豚汁、漬物
5月	子どもの日：ちらし寿司、誕生会	12月	誕生会、忘年会&クリスマス会
6月	ドライブ：外食または外注弁当	1月	お正月：こづゆ、おせち盛、煮しめ
7月	土用丑の日：鰻のちらし寿司、祇園祭	2月	節分：恵方巻き
8月	花火大会：夏野菜カレー、すいか、漬物	3月	ひな祭り、春彼岸、誕生会
9月	うさぎの森ドライブ：カレー、すいか		

② 一人ひとりの健康を支えた（個々の喫食状況に合わせた食形態を提供、ソフト食の導入）	
食事形態	人数
普通食	26名
きざみ食	13名（極きざみ1名含む）
ミキサー食	6名
合計	45名

③ 食の安全に取り組んだ
利用者、職員共に衛生面に心がけ、食中毒、感染症対策に努めた ＜実施内容＞ ●関係職員の月1回の検便検査の実施（冬季間においてはノロウイルス検査の追加） ●取引業者の自主検査の提出依頼 ●毎日の水質検査・調理員の衛生、体調チェック等

## 1 2、防災

<b>【基本方針】</b>	
○災害（火災、地震、風水害等）の際に速やかに対応ができる体制整備や減災のための事前対策に努め、災害発生直後における災害発生から避難誘導までの訓練を行ない、防災マニュアルを整備・点検し、非常時に対処する	
<b>【実施内容】</b>	
＜体制整備・減災のための事前対策に努めた＞	
①立地条件と災害予測	施設の立地条件の把握と災害の予測について検討した
②災害時体制整備	役割分担、連絡体制を整備した
③情報整理	施設利用者情報を把握した
④基準等の策定	避難の判断、災害に応じた避難方法を検討した
⑤事前準備・安全対策	食糧等備蓄、施設の定期点検
⑥教育・訓練	職員への防災教育、防災訓練を実施した

**【年間防災活動】**

月	月別防災項目	実施内容
4	防火設備の点検	職員で防災マニュアルの確認・点検 スプリンクラー設置に伴う防火設備の確認
5	避難訓練（通報・避難誘導）	体制整備・減災のための事前対策の点検
7	避難訓練（通報・避難誘導）	避難経路、危険箇所、防災用具の点検
11	避難訓練（通報・避難誘導）	避難場所・経路の環境整備
1	避難訓練（通報・避難誘導）	冬期間の避難場所・経路の環境整備

**13、事故防止**

実施項目	活動内容
リスクマネジメント	利用者の事故を未然に防止する為に、職員がリスクマネジメントに関する共通認識を持ち、ヒヤリハットレポートを活用し職場内での安全対策強化を進めた
送迎車両の運転	送迎車両の利用時など利用者の移動時に対する安全配慮（車両点検・安全運転）に努めた